

歯科口腔保健に関する施策の実施状況報告

目 次

| | | |
|--------------------------------------|-------|----|
| I . 神戸市歯科口腔保健推進条例に基づく推進体制 | ----- | 3 |
| II . 神戸市歯科口腔保健推進検討会（条例第 7 条） | ----- | 4 |
| III . 神戸市歯科口腔保健推進懇話会（条例第 9 条） | ----- | 5 |
| IV . 「こうべ歯と口の健康づくりプラン（第 2 次）」の取り組み状況 | --- | 7 |
| ライフステージに着目した施策の展開（第 7 条） | | |
| 1. すべてのライフステージにおける取り組み | | |
| 2. 妊娠期 | | |
| 3. 乳幼児期（0～5歳） | | |
| 4. 学齢期（6～17歳） | | |
| 5. 若年期（18～39歳） | | |
| 6. 壮年期（40～64歳） | | |
| 7. 高齢期（65歳以上） | | |
| 分野別にみた施策の展開（第 7 条） | ----- | 17 |
| 1. 障害者への歯科保健医療対策 | | |
| 2. 地域包括ケアに向けた取り組み | | |
| 3. 救急医療対策（歯科） | | |
| 4. がん対策（口腔がん） | | |
| 5. 周術期（手術前後）などの取り組み | | |
| 6. 災害時における歯科保健医療対策 | | |
| 計画の指標 | ----- | 24 |
| 市内での取り組み | ----- | 25 |

令和元年度の取り組みは 6 月末現在

I .神戸市歯科口腔保健推進条例に基づく推進体制

条例に基づき、学識経験者や歯科医療等関係者から成る「神戸市歯科口腔保健推進検討会（第 7 条）」および保健医療等関係者や市民代表なども加えた「神戸市歯科口腔保健推進懇話会（第 9 条）」を開催し、歯科口腔保健の推進のために協議を行っている。

平成 29 年度より口腔保健支援センターを設置して推進体制を強化するとともに、平成 30 年 4 月に「こうべ歯と口の健康づくりプラン（第 2 次）（平成 30 年度～5 年間）」を策定した。

平成 30 年度は、神戸市歯科口腔保健推進検討会」を 3 回、「神戸市歯科口腔保健推進懇話会」を 2 回開催し、様々なご意見を頂きながら歯科口腔保健を推進した。

II. 神戸市歯科口腔保健推進検討会（条例第7条）

市歯科医師会役員、9区歯科医師会会長他、歯科医療等関係者の参加のもと、地域での取り組みや課題、今後の対策などについて議論を行う。

神戸市歯科口腔保健推進検討会 委員名簿

◎ 会長 （選出分野別 敬称略） 平成30年4月1日現在

| 所属 | 氏名 |
|---|--------|
| 学識経験者 ◎ 神戸常盤大学短期大学部口腔保健学科 教授 （兵庫県病院歯科医会 会長） | 足立 了平 |
| 神戸市歯科医師会 会長 専務理事 常務理事 常務理事 常務理事 常務理事 | 安井 仁司 |
| | 百瀬 深志 |
| | 池端 幸成 |
| | 杉村 智行 |
| | 北上 仁司 |
| | 高見 敏昭 |
| 病院歯科 神戸市立医療センター中央市民病院 歯科・歯科口腔外科 部長 | 竹信 俊彦 |
| 各区歯科医師会 東灘区歯科医師会 会長 灘区歯科医師会 会長 中央区歯科医師会 会長 兵庫区歯科医師会 会長 北区歯科医師会 会長 長田区歯科医師会 会長 須磨区歯科医師会 会長 垂水区歯科医師会 会長 西区歯科医師会 会長 | 岩本 正人 |
| | 片野 清 |
| | 三代 知史 |
| | 神原 修 |
| | 西尾 嘉高 |
| | 中塚 要 |
| | 定政 規夫 |
| | 田口 雅史 |
| | 薩摩 佳秀 |
| 兵庫県歯科技工士会 会長 | 宅見 満 |
| 兵庫県歯科衛生士会 会長 副会長 | 上原 弘美 |
| | 岩崎 小百合 |

開催日程

- ①平成30年7月18日（水）、②平成30年10月29日（木）、③平成31年1月24日（木）

主な議題と意見

- ①「こうべ歯と口の健康づくりプラン（第2次）」の策定について
「こうべ歯と口の健康づくりプラン（第2次）」を市民の目に触れるようにしてほしい。
健康格差の縮小に向けて努力する。
- ② 歯科口腔保健に関する施策の実施状況報告
歯の健康サポーターの教育はどのようにしているのか。歯科衛生士会、歯科医師会との連携を密にすることが必要である。
- ③（新規）オーラルフレイル対策事業について
フレイル対策を考える上で、重要なテーマがオーラルフレイル対策である。例えば、中央区歯科医師会は「いい歯の日フェア」で、長田区歯科医師会は「まちの文化祭」で、オーラルフレイルの啓発が可能である。歯科衛生士会は、研修をして技量の統一を図っている。オーラルフレイルチェック後の事後指導の内容について相談が必要である。
- ④ 地域での障害者歯科診療の取り組みについて
神戸市における障害者歯科診療は、こうべ市歯科センターと西市民病院が中心となっている。加えて、地域歯科医院において障害者歯科医療が行える取り組みが必要である。

- ⑤ 訪問口腔ケアについて
その有用性の理解を深めるため、ケアマネジャーを含めての努力が必要である。
- ⑥ 母子保健事業に関して
口腔リテラシーをこどものころから進めることにより、将来的にオーラルフレイルの防止に繋がる。中高校生に向けた教育・啓発の実施が必要である。
- ⑦ 学校歯科保健について
フッ化物に対する理解を進めることが必要である。
- ⑧ その他
歯科技工士業界は、深刻な後継者問題に直面している。

Ⅲ. 神戸市歯科口腔保健推進懇話会（条例第9条）

歯科医療等関係者、保健医療等関係者、および市民代表などの参加のもと、神戸市の歯科口腔保健に関する重要事項について議論を行う。

神戸市歯科口腔保健推進懇話会 委員名簿

◎ 会長 (選出分野別50音順 敬称略) 平成30年7月1日現在

| | 氏名 | 所属等 |
|------------|---------|--|
| 学識経験者 | 足立 了平 | 神戸常盤大学短期大学部口腔保健学科 教授 (兵庫県病院歯科医会 会長) |
| | ◎ 天野 敦雄 | 大阪大学 大学院歯学研究科長 歯学部長 教授 |
| | 伊藤 篤 | 甲南女子大学 人間科学部 総合子ども学科 教授 |
| | 三宅 達郎 | 大阪歯科大学 口腔衛生学講座 主任教授 |
| 歯科医療等関係者 | 上原 弘美 | 兵庫県歯科衛生士会 会長 |
| | 神原 修 | 神戸市歯科医師会 副会長 |
| | 竹信 俊彦 | 神戸市立医療センター中央市民病院 歯科・歯科口腔外科 部長 |
| | 広瀬 武久 | 兵庫県歯科医師会 専務 |
| | 安井 仁司 | 神戸市歯科医師会 会長 |
| 保健医療等関係者 | 伊藤 清彦 | 神戸市薬剤師会 会長 |
| | 置塩 隆 | 神戸市医師会 会長 |
| | 成田 康子 | 兵庫県看護協会 会長 |
| | 西 昂 | 神戸市民間病院協会 会長 |
| 民間各種団体の代表者 | 津田 佳久 | 神戸商工会議所 総務部長 |
| 市民代表 | 小林 佳代子 | ネットモニター公募委員 |
| | 服部 貴美子 | 市民推進員 |
| 兵庫県 | 時岡 早苗 | 兵庫県健康増進課 歯科口腔保健担当参事 |
| 神戸市 | 北 徹 | 神戸市 医療監 |

開催日程

- ① 平成30年8月9日(木)、② 平成31年3月6日(水)

主な議題と意見

- ① 「こうべ歯と口の健康づくりプラン（第2次）」の策定について
「こうべ歯と口の健康づくりプラン（第2次）」を、市民へ広く理解してもらうことが必要である。概要版を医師会、歯科医師会、薬剤師会、看護協会、歯科衛生士会の会員へ配布して啓発に協力する。

② **オーラルフレイル対策事業について**

市民はオーラルフレイルを知らない。ぜひ市民に対するオーラルフレイルの啓発をすべき。オーラルフレイルは、40代・50代に知ってもらうことが必要ではないか。

オーラルフレイルは高齢者に向けてのみではない。口腔機能への関心は子どもが大事。乳幼児期からの啓発が、高齢者の口腔機能を保つことに繋がる。

③ **地域での障害者歯科診療の取り組みについて**

今後、障害者歯科の研修会を実施して会員のレベルアップに努める。

④ **学校歯科保健研修会に関連して**

フッ化物がむし歯予防効果があるのはエビデンスがある。フッ素への誤解が多いので、研修で正しい情報を発信できてよかった。フッ化物応用について検討会を開催し、まずは保護者への啓発として、フッ化物の有効性についてリーフレット配布を行う。

⑤ **市民PHRについて**

若年層に向けて健康を目指す MY CONDITION KOBE（スマートフォンアプリ）は興味深い。

⑥ **口腔がん検診について**

今後の問題として、特定の定点検診ではなく、一般の歯科医院で平常時から診る事が効果的である。

⑦ **訪問口腔ケアについて**

日本歯科衛生士会で「在宅療養指導口腔機能管理」認定歯科衛生士制度があり、今後は、認定された歯科衛生士による訪問事業をと考えている。